特 集

伊豆長岡病院に於けるリハビリテーションの歩み**

The Progress of Rehabilitation Medicine in Juntendo Izunagaoka Hospital

井 上 幸 雄*

YUKIO INOUE, M.D.

昭和42年4月、町立伊豆長岡病院のあとをうけて順天堂大学医学部附属順天堂伊豆長岡病院が開設され、来年で満10周年を迎えようとして居ります。その間我国のリハビリテーションは飛躍的な発展を遂げ、当地に於ても中伊豆温泉病院、伊豆通信病院、韭山温泉病院、中伊豆リハビリテーションセンター、そして現在建設が進んで居ります慶応大学月ヶ瀬リハビリテーションセンターも来春にはオープンし、伊豆地方はリハビリテーションのメッカとなりつつあります。このように豊富な温泉と温暖な気候に恵まれた当地に開設されました順天堂伊豆長岡病院のリハビリテーションの歩みをふり返って見ますと、町立病院から移管されました当初はマッサージ電気治療室という小さな部屋で機能訓練士(PT)1名、マッサージ師2名という小世帯で細々と理学療法を開始しました。2年目の昭和43年春、1名のPTを増員し43年7月にオープンする第1期増築工事の準備を進め、工事完成と同時に現在の理学療法部門の運動療法室と水治療法の運動浴、ハーバードタンク、部分浴などが設けられました。その後の施設としてマッサージ電気治療室、PT記録室などができ上り、現在病院建築面積のうち216m²を理学療法部門のスペースとして使用して居ります。またPTスタッフの面では第1期工事完成にともなう飛躍的な症例増加もあって、3年目の44年4月に1名、46年4月1名、48年4月1名、49年4月1名

と6名のPT、2名のマッサージ師を擁し、できるだけ人手をかけた機能訓練を心掛けてまいりました。また49年度からはその年に施行されました厚生省基準に基づく適合施設に指定され、実習生の受入れなども積極的に行なっております。

ここで当院のリハビリテーションの症例についてちょっとふれてみます。昭和49年4月より本年9月までの2年6カ月間の入院患者490名の機能訓練の内訳を各科別に見ますと、整形外科284名(58%)、内科116名(23.7%)、脳神経外科90名(8.4%)となります。またこれらを疾患別に見ますと、整形外科284名中骨折が圧倒的に多く117例で41%、次いで脊髄損傷17例6%、以下変形性股関節症、慢性関節リウマチ(RA)、その他となって居ります。内科では116名中脳血管障害による片麻痺が89例77%、次いで心疾患、RA、その他となり、脳神経外科では90名中頭部外傷が21例23%、脳動脈瘤、動静脈奇型の術後16例18%、その他となって居り、各科ともこれらの症例の大部分は急性期からのものであります。次に当地に於ける各リハビリテーション施設では圧倒的に県外からの患者が多い様ですが、これを当院について見ますと症例490名中354例72.2%は県内で、東京を中心とする関東一円は12.7%と少く圧倒的に県内患者が多くを占めて居ります。このことは地域医療の基幹病院としての性格が強く現われているように思います。また今後私達の意図しますリハビリテーションの方向は、地域の基幹病院として地域医療に密着した急性期からのリハビリテーションであり、如何にして機能障害を少くするかという課題に向かって医師とPTが協力し合って積極的に取組んで行きたいと思ひます。幸い来年末には災害医学研究所2期工事も完成し、OT部門、

* 順天堂伊豆長岡病院整形外科医長、静岡県田方郡伊豆長岡町長岡1129

* 順天堂大学医学部講師(整形外科)

**第198回順天堂医学学会術集(Oct., 12, 1976)
[Nov., 5, 1976 受付]

ADL 部門も併設されることになりますので、単なる機能訓練の域を脱し、総合病院に於けるリハ

ビリテーション部門の役割を果たせるようになるものと思います。

乳糖分解酵素製剤〔健保適用〕

ガラクターゼ[®]散

〔効 能〕

乳児の乳糖不耐により生ずる消化不良の改善

- 1) 一次性乳糖不耐症
- 2) 二次性乳糖不耐症

単一症候性下痢症、急性消化不良症、感冒性下痢症、白色便性下痢症、慢性下痢症、未熟児・新生児の下痢。

〔使用上の注意〕

● 一般的注意

- 1) 便pHおよび便中の糖を測定し、原則としてつぎの点を基準として使用してください。
 - ① 便pH5.5以下
 - ② 便pH5.6～6.5の場合かつ便中の糖+1以上
 - ③ 便中の糖+2以上
- 2) 便性状の改善、便回数の減少がみられない場合には、投与を中止してください。

東京田辺製薬株式会社
103 東京都中央区日本橋本町2-7-3